

大西 さとる

東京都議会議員

【大西さとるプロフィール】昭和36年生まれ。立命館大学経済学部卒、早稲田大学大学院修士課程修了。11年間のサラリーマン生活ののち、細川律夫衆議院議員第一秘書を経て、平成13年都議選に挑戦するも惜敗、平成17年に都議選に初当選。文教委員会委員長、オリンピック招致委員会理事、都議会民主党幹事長代行などを歴任。現在3期目、環境・建設委員会所属。

足立区の教育レベルの向上 東西の交通網の整備が必要

足立区選出大西さとる都議会議員の3期目当選後、この1年間の活動をご報告させていただきます。大西都議は2013年6月民主党への猛烈な逆風の中3期目の当選を果たしました。現在は、環境・建設委員会に所属をし、都議会民主党では、交通政策調査会会長・教育政策調査会会長を務め活動をしています。ご一読頂き、ご意見を頂ければ幸いです。



◎平成26年第2回定例議会で大西さとる都議会議員が一般質問を行いましたので、要旨をまとめてご報告させていただきます。

I 江北高校の更なる支援が必要



大西さとる
質問内容

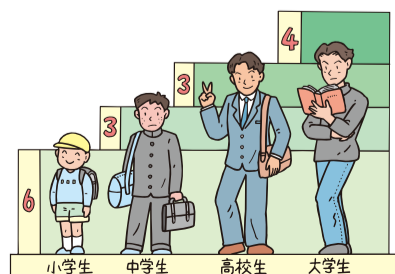
頑張る子供たちを応援するため、進学指導推進校に足立区では都立江北高校が指定されました。江北高校が進学指導推進校として実績を上げていくには、相当の時間がかかり、長い目で見守る必要があります。江北高校への更なるバックアップと長期にわたる計画が必要と考えますが、見解を伺います。

教育長答弁

指定を受け、これまで学校は、公募制による教員人事や退職校長による訪問指導等により教員の授業力の向上や組織的な進学指導の体制づくりに取り組んできた。

都教育委員会は、こうした取組を更に推進するため今年度、予備校の進学指導コンサルティングにより、教科指導體制の改善を図るとともに、昨年度設置した「特進クラス」の充実等について支援を拡充した。

今後とも、地域における江北高校への大きな期待を踏まえ、地元地域の中学生が目標とする進学校の実現に向けて、様々な支援を続けていく。



II 足立区には東西の路線が必要



大西さとる
質問内容

足立区では南北の交通網が発達しています。上野や東京といった駅に行くのは便利です。一方で副都心と呼ばれる新宿や渋谷に行くには大きく迂回しなければなりません。東西の路線の整備が必要ではないでしょうか。

国では交通政策審議会が開かれており、次期の整備路線について審議され始めています。東京都区内にも存在する交通空白地を無くすため、次の世代のためにも更なる路線整備を国に求めていくべきだと考えますが、所見を伺います。

東京都技監答弁

鉄道路線の整備についてであるが、都は、現在、国や鉄道事業者等と連携し、運輸政策審議会答申第十八号に位置付けられた路線の実現に向け取り組んでいる。

国は、本年5月に交通政策審議会の中の鉄道部会を開催し、東京圏における今後の都市鉄道のあり方などについて議論を開始しており平成27年度中に審議会答申を取りまとめるとしている。

都としても、今年度、学識経験者等で構成する委員会を設置し、都における今後の鉄道ネットワークのあり方等について、国の動向を踏まえながら、調査検討を進めていく。

Ⅲ 東京都の公共交通の充実



大西さとる 質問内容

知事は、東京の最大の弱点は交通体系であると認識されています。私は、都議会民主党交通政策調査会の会長として活動し、自家用車から公共交通へシフトを促す海外の交通施策の先進事例を中心として研究してまいりました。都心部における公共交通の利便性の更なる増進が必要だと考えますが、知事の所見を伺います。

舛添知事答弁

都心部における公共交通について東京の鉄道は、高密度で安全なネットワークを形成しているが、バスなど他の交通機関と有機的に関連していない。また、駅などのバリアフリー化や自転車のような環境にやさしい交通手段の活用は十分ではない。このため、外部の専門家を含めた検討会を設置し、鉄道やバスをはじめとする交通機関相互の連携や誰もが利用しやすい交通施設の整備、自転車など様々な交通手段の活用等について、検討を開始したところである。



今後は、公共交通の利便性向上に資する総合的な交通政策を取りまとめ、世界一便利で快適な都市東京を実現していく。



大西さとる 質問内容

オリンピック・パラリンピックでは、8キロ圏内に観客が集中するため、交通には不安を感じています。現状の運送能力、期間中の見込み輸送

量、その差を埋める施策についてどのような方向性で検討していくのか、見解を伺います。

オリパラ局長答弁

オリンピック・パラリンピックにおける交通政策について、立候補ファイルでは、観客は鉄道やバスなどの公共交通機関で輸送する計画としている。輸送関係者の間の意見調整と輸送方針の策定を目的として、「輸送調整会議」を設置した。

都は、今後、この会議等を活用し、組織委員会と連携して、安全で円滑な輸送計画を策定していく。

Ⅳ 予防接種の重要性



大西さとる 質問内容

現在、多くの予防接種が予防接種法に基づく定期の予防接種として実施されています。保護者の事情により予防接種を受けられなかった子供達が、1人でも多く、きちんと予防接種を受けられるように、予防接種の重要性を普及啓発していくことを進めるべきと考えますが、所見を伺います。

福祉保健局長答弁

保護者等に予防接種の意義や目的等を十分理解してもらうことが重要である。実施主体である区市町村は、個別通知等による接種勧奨を行っており、都においても、ホームページ等による周知に努めている。今後とも定期予防接種の円滑な実施に向けて、区市町村等とも協力しながら、一層の普及啓発に努めていく。

環境・建設委員会で進めている施策の大西さとる都議の主張一部をご紹介します。



◎道路環境の整備について

- ▶路面騒音の低減効果や、降雨時の水はね抑制、照明の路面反射の緩和等、通行の安全確保に効果的な低騒音舗装道路の整備について推進すること。
- ▶環境に良い移動手段である自転車の活用を促進するため、ハード面では自転車走行空間の整備、ソフト面では、自転車シェアリングのガイドラインの作成、普及、サイクルステーションの情報提供を進めること。
- ▶東京の都市景観を向上させ、安心安全なまちづくりを進めるために、無電柱化を一層推進すること。

環境局について

- *家庭の創エネ・エネルギーマネジメント促進事業を実施するとともに、オフィスビル等の事業所の創エネ・エネルギーマネジメント促進補助制度や、中小ビルのエネルギー管理支援サービス普及促進事業を実施すること。また、分散型電源として活用可能な次世代自動車の普及促進に取り組むこと。
- *太陽エネルギー利用拡大プロジェクト等の実施により、一層の太陽エネルギー利用拡大を推進すること。
- *地域と連携した環境政策推進のため、区市町村に対し補助するとともに、環境学習を推進すること。
- *企業の温暖化対策を推進するため、大規模事業所に対する温暖化ガス削減義務と排出量取引制度を適正に運用すること。

◎大気汚染対策について

- ▶都内へ繰り返し流入してくる悪質なディーゼル車規制違反車両について、1都3県との連携により、より効果的な取り組みを図ること。そして、黒煙110番の周知に努め、違反車両の効果的な指導に役立てること。
- ▶東京の大気の状態を改善させているディーゼル車の排気ガス規制のノウハウについて、東京を中心としたアジア各国へ提供し、海外貢献を進めていくこと。

◎黒煙を出しながら走行するディーゼル車を発見された時には、

- 1 車のナンバー (例:「品川 11 あ 1234」)
- 2 走行場所
- 3 走行時間
- 4 その他わかりうる情報 (車種、会社名等) をご連絡ください。

TEL.03-5388-3590 平日(月曜日から金曜日まで)の午前9時から午後5時まで受付



建設局について

- *都内中小河川の護岸整備や調節池、広域調節池の整備など、中小河川整備の早期完成、緊急豪雨対策に取り組むこと。
- *都立公園の整備を進めるとともに、防災や帰宅困難者の滞在など、災害時にも対応できる機能を充実強化すること。
- *区市町村における公園整備などが進むよう、土木事業に対する補助を行うこと。また、都市公園の整備を一層進めるための取り組みを充実すること。
- *鉄道の連続立体交差化事業を着実に推進すること。
- *街路樹の充実、育成など、道路の緑化を推進すること。また、遮熱性舗装や街路灯の省エネ照明への転換など、環境に優しい道路整備に取り組むこと。

動画でご覧いただけます。大西さとる 検索
質疑の様は大西さとるHPにて公開中です

大西さとるHP <http://onishi-satoru.jp/>



ご意見・ご要望をお寄せ下さい

FAX.03-3849-7846
E-mail satoru@onishi-satoru.jp

連絡先

大西 さとる 事務所

〒121-0816 足立区梅島1-12-6 高橋ビル2F
TEL.03-3849-7847 FAX.03-3849-7846 E-mail satoru@onishi-satoru.jp

都政報告 <http://www.onishi-satoru.jp> 大西さとる 検索

